

(よくあるQ&A)

Q1. 共同研究のメリットを教えてください。

A1. 共同研究では、水道局の有する施設や局事業に関するノウハウを活用した研究開発を進めることができます。このことから、より現場ニーズに合致した製品開発や技術の信頼性向上、新規事業創出などの成果が期待できます。

また双方の技術力が向上すると考えています。

Q2. 共同研究の採用予定数は、何者を予定していますか。

A1. 年に1～3者程度を想定しています。

なお、応募者多数の場合は一度締め切り、それ以降の提案については、次年度以降に研究を開始する提案として受付ます。

Q3. 募集する共同研究の予算額を教えてください。採用された場合、応募者と水道局との費用負担割合、支払はどのようになるのか教えてください。

A3. 予算額については公表していません。公表をしていない理由は、より優れた技術が幅広く提案されることを期待しているためです。

また、費用負担の割合については、原則等分としていますが、共同研究の趣旨を十分御理解の上、研究内容に応じた負担割合を応募者にて提案していただいて結構です。

Q4. 共同研究者の決定までの流れを教えてください。また採用された場合、いつから研究に取り掛かることになるのでしょうか。

A4. 提案された技術については局内審査を経て、共同研究者を決定します。審査完了後、協定を締結し研究着手となります。詳しくは応募要領(P2)をご覧ください。

Q5. 共同研究により開発された技術の導入(実用化)は、どのようになりますか。

A5. 研究は、実用化を目指して実施するものです。開発品の成果については、局内で検討を行い導入(実用化)に向けての判断を行います。

Q6. ホームページに掲載されている内容以外で、水道事業に有益な技術を提案し、共同研究したいのですが。

A6. まずは、研修・開発センター開発課へお問い合わせください。今回、HPに掲載したのは水道局が抱える課題の一部です。水道関連企業以外からの技術的提案もお待ちしています。

Q7. 既に実施中の研究テーマがありましたら教えてください。

A7. 研修・開発センター開発課へお問い合わせください。ただし、研究内容によっては、特許等の関係からお答えできない場合もございますので、あらかじめご了承ください。